



<CAM インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年10月8日

インドネシアの外貨準備高

4か月ぶり減少

インドネシア中央銀行は7日、9月末の外貨準備高が、8月末から約1.7%減少し約1,243億ドル(約13.3兆円)になったと発表した。4か月ぶりに前月比で減少となった。

同中銀は、政府の対外債務の返済、市中銀行の中央銀行への外貨預け入れの減少を理由として挙げている。

同国外貨準備高は、輸入代金の7.2カ月分、輸入代金と対外債務の返済額を合わせた額の7.0カ月分に相当する。国際標準とされる輸入代金3カ月分を上回っており、十分な水準を維持している。



出所:インドネシア中央銀行のデータを基にキャピタル アセットマネジメントで作成

以上